

音楽の都 ウィーン在住の歌姫来たる！

～日本では聴けない本当のオペレッタの名曲をウィーンっ子が認めた日本人歌姫で聴く～

三谷結子 が奏でる

# 心に響く 歌！唄！うた！

コース料理を戴き、美しい音楽を聴き、  
夏の午後を至福の時間に・・・



三谷結子 (ソプラノ)



黒田聡子 (ピアノ)



牧村邦彦 (ナビゲーター)



賛助出演：  
谷 浩一郎 (テノール)

センス抜群の黒田聡子のピアノと、楽しい音楽の世界にいざなう名人の牧村邦彦のナビゲーター！  
さらに、熟女キラーの谷 浩一郎が加わっての最強の布陣！これは 聴き逃せません！！

2018 **8/5** 日 12:00 受付開始  
12:30 ~ お食事  
13:30 ~ 開演

イタリアンレストラン **HiBiKi** (心齋橋)

8,000円 イタリアンコース料理  
& サプライズプレゼント 付き！



〒542-0081  
大阪府中央区南船場4-12-24 現代心齋橋ビル1F  
TEL:06-6244-2243

**最寄駅** 大阪地下鉄ニュートラム各線「心齋橋駅」3番出口  
クリスタ長堀 北13番出口・「四つ橋駅」1・A出口  
⇒各出口より徒歩3分

*Yuko Mitani* 三谷結子 (ソプラノ)

武蔵野音楽大学声楽科卒業。読売新人演奏会をはじめ各種新人演奏会出演後、ウィーンに留学。プライナー音楽院声楽科を最優秀の成績で卒業。バーデン市立劇場(オーストリア)のデビュー以降メルビッシュ湖上音楽祭や新国立劇場などのヨーロッパ各地の劇場およびフェスティバルに多数客演。コンサート歌手としても活躍しリーダーイベントや各種イベントに多数出演。2018年5月よりオーストリアのロマンティック劇場の新作オペレッタ「天からの酒の神バックス」でマルガリータ役で出演中。舞台活動の傍らウィーン・プライナー音楽院声楽科の教授を務める。2018年メンタルアカデミーヨーロッパにてメンタルトレーナーの資格を取得。現在ヴォイス・メンタル・トレーナーとして現役の歌手や歌手を目指す若者の、声だけでなく精神面のケアなど育成に貢献している。



黒田聡子 (ピアノ)

*Satoko Kuroda*

国立音楽大学器楽学科ピアノ科卒業。東京夏の音楽祭「チャルダッシュの女王」のピアニスト役で出演。室内楽では、ウィーン・ラズモフスキー弦楽四重奏団と共演。ドラマ「のだめカンタービレ」では、ピアニストとして出演。ウィーンでは、R. ベッシー氏のコレペティトールを務める。ウィーンにてオペレッタコンサート、ヴィーナーリートへの出演。オペレッタやウィーンナーリートの伴奏など、コンサート・ディナーショー・サロンコンサート・リサイタルなどの伴奏者として幅広く活躍中。東京室内歌劇場会員。



*Kunihiko Makimura*

牧村邦彦 (指揮者)

大阪芸術大学演奏学科卒業後、ウィーン国立音楽大学指揮科にてO・スイトナー氏のもとで学ぶ。大阪シンフォニカー交響楽団(現大阪交響楽団)指揮者として'91年から'04年まで13年間にわたり活躍し数百回の演奏会に出演。現在オペラの指揮を活動の中心とし70作品以上のレパートリーを持つ。近年だけでも「アイーダ」札幌響、「オテロ」琉球フィル、「トゥーランドット」「ホフマン物語」大阪響、「魔弾の射手」神奈川フィル、「こうもり」九州響、瀬戸フィルなど各地のオペラ団体と共演している。中でも兵庫県川西市《みつなかオペラ》での活動は全国的に評価され、正指揮者を務めるオペラハウス管弦楽団の演奏での「マリア・ストゥアルダ」「ラ・ファヴォリータ」「ランメルモールのルチア」「カプレーティ家とモンテッキ家」「清教徒」「ノルマ」といったベルカントオペラの演奏には定評がある。これらの公演は、第7回佐川吉男音楽奨励賞、第18回兵庫県芸術奨励賞、第31回音楽クリティッククラブ奨励賞、第12回三菱UFJ信託音楽奨励賞している。

他団体での大阪文化祭賞本賞、第1回佐川吉男音楽奨励賞、第8回佐川吉男音楽賞本賞受賞にも大きく貢献した。自身も平成22年度尼崎市民芸術奨励賞、平成24年度川西市民文化賞を受賞。指揮活動のみならず、公演プロデューサー・演奏会ナビゲーターとしても活躍している。ザ・カレッジオペラハウス管弦楽団正指揮者、大阪芸術大学客員教授、大阪音楽大学大学院非常勤講師、みつなかオペラ音楽監督、合同会社COPAエンタープライズ代表



谷浩一郎 (テノール)

*Koichiro Tani*

大阪音楽大学大学院オペラ研究室修了。関西歌劇団公演『愛の妙薬』ネモリーノ役でデビュー。オーケストラアンサンブル金沢と『コジ・ファン・トゥッテ』フェランド役にて出演。後に渡欧。ドイツ国立マンハイム音楽大学卒業。在学時、マンハイム国立歌劇場『ナクス島のリアドネ』でデビュー。ハイデルベルグ市立歌劇場にて『ウインザーの陽気な女房たち』のフェントンを演じ好評を博す。オペラのみならず、ドイツ各地の教会でバッハのカンタータや、クリスマスオラトリオの福音史家などのソリストを多数歌い、好評を得る。2011年、大阪音楽大学主催創立100周年記念事業の始まりであるサマーオペラ「魔笛」のタミーノ役に抜擢され、好評を得る。

長久手国際声楽コンクールファイナリスト。第43回イタリア声楽コンクール入選。2005年から2007年まで、ウィーン音楽大学夏期講習会にて、2006年から2007年までチェコ国際声楽セミナーでディプロマを取得。

2011年全国高校ラグビー大会開会式、東大阪市市制45、50周年記念式典で国歌を独唱する。堺シティオペラ定期公演『カルメン』(ホセ役で出演)が大阪文化祭奨励賞を、関西歌劇団定期公演『皇帝ティートの慈悲』(タイトルロールで出演)が大阪文化祭奨励賞を受賞。兵庫県立芸術文化センターワンコインコンサートに出演、2017年年間No.1アーティストに選出される。2019年にはアンコール・リサイタルが開催予定。大阪音楽大学演奏員、関西歌劇団理事、ドイツワーグナー奨学財団奨学生、音楽創作工房ムジカヴィエ、関西歌劇団オペラ教室、同志社女子大学各講師。

